

「香川大学デジタルONEアンバサダー」による業務システム内製開発 久我透

香川大学 情報化推進統合拠点 DX推進研究センター

「香川大学デジタルONEアンバサダー」の取り組み概要

- 「市民開発」とは、非情報人材である事業部門がローコード・ノーコードプラットフォームなどを用いてシステム開発をおこなう活動
- 「デジタルONE アンバサダー」は、非情報人材である事業部門職員が任命されており、「デジタルONE アンバサダー」による業務システムの内製開発は、この「市民開発」の取り組みに該当する
- 「市民開発」はIT人材不足を解消し、開発コストが削減できるなどのメリットがあるが、開発には一定程度の研修が必要であるというデメリットも指摘されている
- ガートナーは、事業と情報技術の両面からのアジャイルなチームを「フュージョンチーム」と定義し、組織に設置することを推奨した
- マイクロソフトは、「フュージョンチーム」による開発を「フュージョン開発」と定義した
- 香川大学の「DXラボ」、「DX推進研究センター」、「デジタルONEアンバサダー」が、それぞれ「フュージョン開発」の「プロ開発者」、「ITプロフェッショナル」、「市民開発者」の役割を担っている（図1）
- DX推進研究センターはデータに基づいて市民開発を支援する方策を策定すべく、アンバサダーに取組状況の報告を依頼している
- 2024年度は54件の報告が実施され、2022～2024年度合わせて233件の報告となった（表1）**
- 2024年度より業務システム内製開発を強化した**

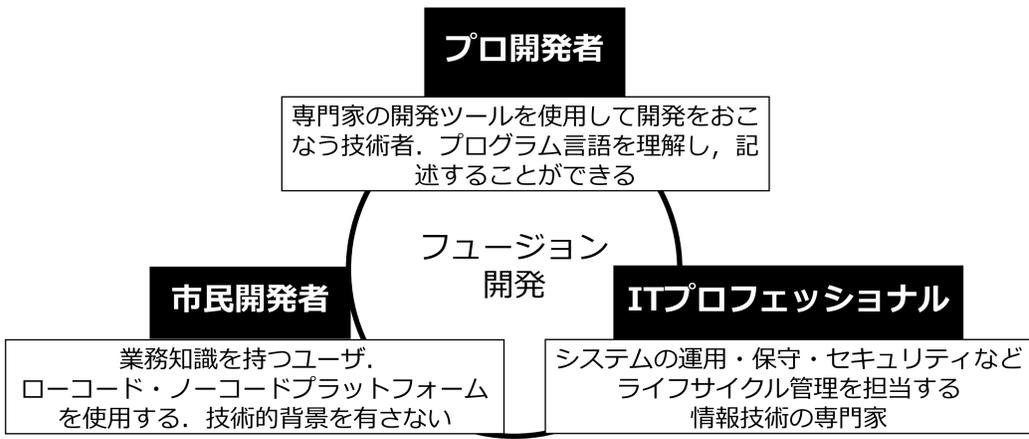


図1 フュージョン開発

表1 2024年の開発事例（ポスター展示テーマ）

番号	開発事例	所属
1	本部共用車運行日誌記録システム	経理課
2	落とし物管理システム「KadaMikke」の全学展開	企画総務部
3	学生寮バーチャル見学システム	学生生活支援課
4	変形労働制対応六付属勤怠システム	附属高松中学校
5	瀬戸内圏研究センター調査船予約・申請システム	研究協力課
6	派遣労働者受入申請システムの開発	人事企画課
7	建物大規模修繕時に必要な情報収集のDX	医学部管理課
8	Power BIによる授業データ分析	医学部学務課
9	医学部自動車入構受付システム（学生）の開発	医学部管理課
10	ものづくり工房利用願Ver.2の開発～一括申請・承認化～	林町地区統合事務センター学務課

業務システム内製開発の強化

- 部門横断型や既存システムの横展開などの、他部署との調整・規則の改正・運用ルールの変更 の調整が必要なプロジェクトが見られるようになった
- 各部門の業務に精通した課長職等の管理職をスーパーバイザーとして任命、**内製開発したシステムの全学展開や、運用にのせるための規則改正などをサポート**している（図2、表2）
- 2024年度はスーパーバイザー向けの研修会を2回実施（図3）
第1回：ビジネスプロセス作成とその改善について
第2回：ビジネスプロセスに基づくビジネスモデル作成について

表2 スーパーバイザーの活動内容

活動内容	例
アンバサダー開発システムの全学展開	落とし物管理システム他キャンパスへの展開
アンバサダー開発システムに応じた運用変更	自動車入構システムの手続きの運用変更
複数部署にまたがる業務の共通化の合意	誓約書システムの導入により、業務を共通化
業務の廃止・見直し	毎年行っていた現況確認業務を変更 疑義発生時の個別確認に変更+メールにて注意喚起

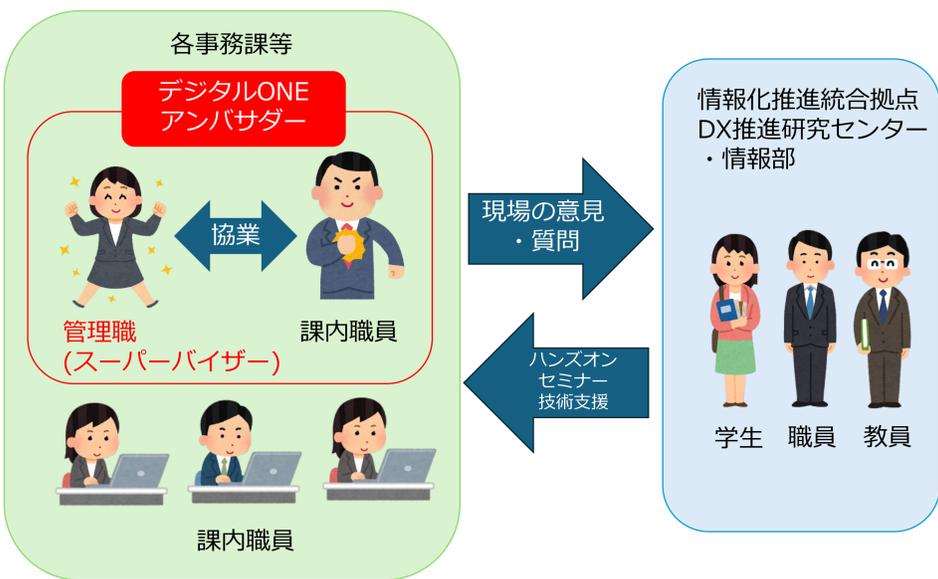


図2 スーパーバイザーの概要



図3 研修会の様子

今後の活動

- 管理職（スーパーバイザー）と業務担当者間の協働による内製システムの全学展開／高度化
- 情報部との協働活動を通じた、業務の標準化
- アンバサダーの活動を通じて得られた実践知を学術論文として公開